

令和8年6月1日

松阪市議会議長
濱口高志様

海住恒幸

研修報告

研修名 令和8年度市町村議会議員研修(2日間コース)
「自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算
審査」

主催 公益財団法人 全国市町村研修財団・全国市町村国際文化研修所(JIAM)

共済 地方公共団体金融機構

後援 全国市議会議長会、全国町村議会議長会

日時 令和8年5月18日(月)午後12時30分(開講式含む)

～5月19日(火)午後3時15分(閉講式含む) * 研修会場での宿泊型研修

会場 全国市町村国際文化研修所

滋賀県大津市唐崎2丁目13番1号 最寄駅 JR 湖西線・唐崎駅

講義 1（初日 午後 1 時～午後 6 時）

「自治体決算の意義と審査のポイント」（金崎健太郎・武庫川女子大学教授）

JIAM市町村議会議員研修に参加するのは今回が初めてだった。

動機はいくつかある。

一つは議員歴が長くなり、随分前に学んだ自治体の決算分析についての知識が曖昧になりつつあり、もう一度学んでおく必要があったこと。もう一つは自治体の歳入、歳出の性質、構造そのものがかなり変質してきており、決算カード等を基本とした財政分析の方法そのものの有効性が低下しつつあるのではないかと疑いを持つようになっていたこと。さらには、夕張市の財政破綻を機に成立した財政健全化法による健全判断比率、実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率といった分析手法があまりに自治体の実態とはかけ離れた印象を受けており、そのことが財政分析から遠ざかってしまうきっかけとなっていたこと。また、令和 2 年初めに広がり始めたコロナ禍、その後の物価高対策に対する国費の投入による財政の肥大に財政分析という手法の有効性に疑問を持つようになってしまっていたこと。

こうした事柄に対しては、初心に帰ることから考えを改めるきっかけをつかみたいという思いが、受講への動機づけとなった。

初日の講義「自治体決算の意義と審査のポイント」は、午後 1 時から午後 5 時までであり、5 時過ぎから 6 時まで班別の意見交換会があった。

講義で時間を割いたのは経常収支比率と、財政健全化法の部分だった。

かつて財政の健全性を示す目安は 75%とされていた経常収支比率は今や 97%が平均値となり、中には 100%を超える自治体さえあるという。原因は、老朽化した公共建築物などの維持費と、少子高齢化に伴う福祉・扶助費にある。これらが全体的に経常収支比率を押し上げる要因となっている。

ちなみに松阪市は 87%（令和 6 年度）である。

ただし、いまよりも将来の経常収支比率を考えておくこと。そして、「一般会計だけやっておけばいいという考え方を捨てること」がこれからの財政状況を見るために必要とする視点であると述べられた。

財政健全化法による財政判断は、健全化判断比率等の数値からだけでは見えないことはたくさんあるので自治体個々で判断していくべきとのことだった。

講義 2 (2日目 午前9時25分～午後3時)

「行政評価を活用した決算審査」(小西敦・京都産業大学法学部客員教授)

小西氏は東大法学部、旧自治省のキャリア職員で、数多くの地方自治体へも出向している。平成26年に著した688ページ、21,000円の大著『地方自治法改正史』は、他の書籍には決してない資料的価値を持ち、かねてより敬意を表していたことが受講動機につながった。ところが、この小西氏がこの講義では法制度論ではなく、行政評価を語るの意外だった。

行政評価についての講義は①制度②現状③討議・演習④発表・講評で構成され、午前9時25分に開始、昼休みを挟んで午後3時に閉講というスケジュールだった。

事前に、行政の側の行政評価制度の実施の有無についてのアンケートがあった。この研修に参加した議員92人で、所属議会の自治体数は重複があり、カウントしてはいないが、トータルで72%は実施しているとの回答だったが、松阪市は実施していないほうに含まれる。次に、議員としてどのような形で評価にかかわることができるか、という問題である。これは、決算審査をどのように意義あるものとし、次の予算につなげていくかという性質のものである。そこで先ほどの事前アンケートには、それぞれの議会の決算審査を効果的にするための工夫と、議会の側の住民に対する決算説明の工夫についても記述させる項目もあった。

講義の中で言及のあった行政による評価(政策・施策・事業ごと)の区分等の紹介については概念的で印象に残るものはなかったが、地方創生事業に対する評価方法については学んでみる必要性を感じた。

続いて、議会の側からの評価としての決算審査のあり方については藤枝市の事例について紹介され、これを中心に班別のグループ討議を行い、討議結果について全体発表する機会を得ることができて良かった。

